

2023 年度グローニンゲン大学とのダブル・ディグリー・プログラム 2023 年 9 月派遣学生募集要項

趣旨

本プログラムに参加する大学院生は、グローニンゲン大学に約 1 年間（10 ヶ月）留学することにより、両大学から修士号（修士〔国際公共政策〕及び MA in Modern History and International Relations）を取得することが可能です。グローニンゲン大学に検定料、入学料および授業料を支払う必要はありません。西欧オランダという異文化圏で高等教育を受けて、二つの大学で修士号を取得し、国際舞台で活躍できる高度な能力を備えた人材を育成することを目的としています。

1. プログラムの概要

留学期間は 8 月末から翌年の 6 月末までの予定で、グローニンゲン大学の学年暦は 9 月初旬からおおむね 6 月下旬までです。グローニンゲン大学では研究者養成を目的とした「現代史・国際関係論プログラム」に在籍し、すべて英語で授業・指導を受けることになります。

両大学から修士号を取得するためには、2025 年 3 月予定の修了までに大阪大学で 30 単位、グローニンゲン大学で 120 単位（120 ETCS）を取得し、英文の修士論文（3 万語程度）を帰国の翌年（2025 年）の 1 月、大阪大学に提出する必要があります。

なお、大阪大学で取得した単位は 30 単位（30ETCS＝大阪大学の 16 単位）程度、グローニンゲン大学の修了要件単位として認められ、グローニンゲン大学で取得した単位は 10 単位（＝18ETCS）まで大阪大学の修了要件単位として認められます（大阪大学の 1 単位＝グローニンゲン大学の 1.8 単位〔1.8ETCS〕）。大阪大学に提出する修士論文も 30 単位（30ETCS）に換算して、グローニンゲン大学の修了要件単位に組み入れられます。

このようにして両大学に 2 年間在学して、二つの修士号を取得することができます。

参考：グローニンゲン大学HP

<http://www.rug.nl/masters/modern-history-and-international-relations-research/?lang=en>

但し、新型コロナウイルスの蔓延が続くなか、現時点で留学の可能性については不確定要素が多いことにご留意下さい。

2. 募集人員

1 名（予定）

3. 出願資格

- ① 派遣時に大阪大学大学院国際公共政策研究科の博士前期課程に在籍する者
- ② 学業成績が優秀である者（書類および面接による選考を行います）
- ③ 海外の大学で講義を受けながら研究を行うために必要な英語運用能力を有する者
- ④ その他、受け入れ大学（グローニンゲン大学）が指定する条件を満たしている者

4. 出願締切

2023年4月14日（金）16時00分

5. 出願手続

次の書類を国際公共政策研究科教務係窓口へ提出すること。（一部の書類が遅れる場合は事前に連絡して下さい。）

- ・履歴書（所定の英文書式。下記の担当教員より入手して下さい）
- ・志望理由書（英文で500語程度。なお、グローニンゲン大学への推薦が決定した場合、5月初旬までに英文の研究計画書〔2500語程度〕が必要になります）
- ・過去1年間の学業成績を証明する書類（コピー）
- ・英語運用能力を証明するスコア票（コピー）（TOEFL か IELTS が望ましい〔TOEIC は参考程度〕）（TOEFL ないし IELTS のスコアを持たない学生は、下記のスカイプ面接で英語運用能力チェックを受けることで認められる場合があります）

6. 選考方法

1次選考（大阪大学）および2次選考（グローニンゲン大学）

(1)第1次選考

2023年4月17日（月）～27日（木）（面接〔原則として英語〕：約15分）

(2)第2次選考

2023年5月（予定）

書類選考（出願時に提出した書類に加えて、英文の研究計画書・成績証明書〔学部・大学院〕が必要になります）。但し、必要に応じてオンライン面接を実施する場合があります。

7. 合格者発表

2023年6月初旬（予定）

8. 海外旅行保険に加えて、本学が契約している派遣留学生危機管理サービス（OSSMA）

（<https://emergency.co.jp/service/education/>）に加入することが義務づけられています。

問い合わせ先：国際公共政策研究科教務・中嶋啓雄（nakajima-h.osipp@osaka-u.ac.jp）